

各位

平成 30 年 11 月吉日

日本初等理科教育研究会理事長 白岩 等

研究紀要原稿執筆依頼について

立冬を過ぎ、朝晩に寒さを感じる時節、先生におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、先生には、日本初等理科教育研究会の「研究紀要」へのご執筆をお願いすることになりました。何卒、ご協力のほどお願い申し上げます。

論文の掲載・発行は、来る平成 31 年 2 月を予定しています。つきましては、編集上の手続きがいろいろとありますので、その旨をご理解の上、締め切り日を厳守していただきたいと思っております。

原稿締め切り

1 次締め切り	平成 30 年 12 月 16 日 (日)
最終締め切り	平成 31 年 1 月 18 日 (金)

締め切りに間に合いませんと掲載できないこともあります。ご承知おきください。

★注意★

- 投稿されました論文を 2 名の役員が読まさせていただきます。役員が質問やコメントをつけて、メールでお知らせしますので修正してください。その後、編集部で検討させていただき、修正していただきたい点があれば返却します。そして、最終締め切りまでに最終的な原稿を送ってください。
なお、論文の査読結果や修正意見については、メールを使ってお知らせします。送付いただく論文の封筒の中に、必ずご自身のメールアドレスがわかるメモや名刺等を入れて、事務局にお知らせ下さい。
- 紀要論文については、「優秀論文の表彰を行わない」ことを、本会理事会にて決定しています。紀要に掲載された論文は、すでに本会で優秀であると判断した結果だからです。ですから、新たに表彰することはしませんので、ご承知おきください。
- 研究紀要に掲載された論文は、本研究会の HP にて「表題・執筆者・所属・梗概」を掲載していくように準備をすすめている段階です。HP への掲載について、執筆前ですが、ご了解下さい。
- 時々、「資料」としての割愛の限界をかなり超えたものを送ってこられる方がいらっしゃいますが、これは、役員や普及情宣部で吟味させていただく際に添付資料を割愛させていただくこともありますので、与えられたスペースを十分に吟味・考慮の上、ご執筆ください。
例えば、指導細案、カリキュラム案、新聞等を縮小して掲載するなどです。
なお、掲載スペースは、6～8 ページです。十分に注意してください。
(執筆に関する詳しい内容は、別紙の「執筆要項」をご覧ください)

日本初等理科教育研究会『研究紀要』執筆要項

1. 書式について

- (1) 1 ページ詰（横書き）：22文字×40行×2段
- (2) 分量：1 ページあたりの規定文字数で、6 ページから8 ページ
できるだけ偶数ページでお願いします。
- (3) 書体：本文は、明朝体 10.5ポイント
タイトル等は、ゴシック体 10.5ポイント
数字は、算用数字を基本とする
- (4) 1 ページ目について
 - 【表題】 5行取り
 - 【執筆者・所属名】 3行取り
 - 【梗概】 32文字×12行以内
「梗概（こうがい）」は、論文全体の要旨を簡略にまとめたもので、「前書き」ではないことをお含みおきください。
 - 【本文】 22文字×○行×2段
(行数は、上記の表題・執筆者・梗概で使用される行数によって変動)
- (5) 見出し
 - ・小タイトルは、2行取り（ゴシック体）（1. 2.・・・）
 - ・その他のタイトルは、1行取り（ゴシック体）
- (6) 写真・図表について
 - ・写真は鮮明なものを用意し、指定箇所に軽く貼ってください。
または、「JPEG形式」添付でお送りください。その際には、容量が大きすぎないようにご注意ください。
 - ・図表は別紙に描いて、原稿の指定箇所に軽く貼ってください。図表は、そのまま版下として使えるように（そのまま印刷します）、できるだけきれいに描いてください。
 - ・インターネットや書籍等からコピーしたものを添付する場合は、著作権の問題がありますので、必ず許諾をとってください。
 - ・複数の写真を貼付する場合は、写真の裏に指定番号を記入し、本文の指定番号と合致するようにしてください。「指定番号」の書き方は、「写真－1」「表－1」「図－1」のようにして、できればタイトルをつけておくとよいです。
- (7) 資料の扱い
カリキュラム案、指導細案等を「資料」扱いとして掲載する場合は、このページも本文の分量の中に含まれますので、ご承知おきください。また、これらの資料を縮小して掲載する場合がありますが、その場合は、80%程度にとどめておいてください。仕上がった物を見たときに、何が書いてあるのかわからないような結果になることが多いので、十分にご検討ください。

2 参考文献・引用文献について

参考にした文献や引用した文献等があれば、必ず明示してください。これが記載されていない論文の場合は、全ての内容が執筆者のオリジナルであると判断されてしまい、既に発表された論文等と同じ内容を記述した場合には、「盗作」と誤解される可能性もありますので、ご注意ください。

★雑誌の場合：氏名・(西暦年号)・論文の題名・雑誌名・巻または号・ページ

<例> (1) 角屋重樹 (1993) 「C区分宇宙をどう扱うか」 初等理科教育 Vol.27, No.10, P10～13

★単行本の場合：氏名・(西暦年号)・書名・所在地・発行所名・ページ

<例> (1) 西尾幹二 (1978) 「ニーチェとの対話」 東京・講談社・P100～131

3 原稿送付について

(1) 送付する原稿について

仕上がった原稿は「プリントした原稿」と「データの入った媒体」を送ってください。「一太郎」または「ワード」であればそのまま結構ですが、ワープロ等で作成した場合は、テキストファイル形式をお願いします。ワープロ原稿の場合は機種名、パソコンの場合はソフト名を明記してください。

または、メール添付でも可能ですが、念のため上記の原稿・媒体も必ず送ってください。

★封筒の中には、必ずご本人のメールアドレスがわかるメモや名刺などを入れてください。論文の査読結果や修正意見等をメールでお知らせいたします。

(2) 受理した原稿について

投稿された原稿は、原則として返却しません。予め、コピー等をとっておいてください。返却を希望される方は、その旨をお知らせください。

受理した論文の掲載にあたっては、日本初等理科教育研究会の編集委員に一任させていただきます。尚、もし、何らかの問題が発生した場合には編集委員長名で執筆者にご連絡いたします。

(3) 原稿送付先

〒272-0823

千葉県市川市東菅野 2-17-1

昭和学院小学校

日本初等理科教育研究会「研究紀要」理事長 白岩 等 宛

TEL・FAX 047(300)5844

◆メールの場合

担当：白岩 等 (昭和学院小学校)

hshiraiwa3517@gmail.com

- ・「研究紀要」の性格上、原稿料はありません。今年度より、経費削減のため別刷りは廃止といたします。ご理解とご協力をお願いいたします。
- ・ご不明の点があれば、担当までおたずねください。